



# ハヤブサ

ニュース No.52

2020. 9. 14

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

絶滅危惧種  
京丹後のハヤブサ

## 京丹後訪問活動報告

## 京丹後市への申し入れ事項

2020年8月21日

京丹後市長 中山泰 様

### 申し入れ書

**米軍 X バンドレーダー基地の閉鎖を  
要求し、基地問題の徹底検証を！  
日米地位協定の抜本改正を要求せよ！**

米軍 X バンドレーダー基地（経ヶ岬通信所）における新型コロナウイルスへの集団感染が深刻な問題になっている。すでに米軍人4人、米軍属9人、およびその接触者2人の感染が判明している。最大で160人とされる基地の規模を考えれば極めて高い感染率である。

しかし、この間の米軍や近畿中部防衛局の対応は、感染拡大防止を真剣に考えているとは到底言えないものであった。米軍は京丹後市からの要請があるまでは軍属全員を対象としたPCR検査を実施してこなかった。また、市長自らが指摘しているように、米軍側の検査によって感染が判明した米軍関係者の濃厚接触者等の詳細な情報について、米軍は保健所からの照会に応じていない。近畿中部防衛局はただ米軍の代弁をするだけで、米軍に何か具体的な働きかけを行っているわけではない。このような米軍や近畿中部防衛局の態度が、住民の不安を増大させている。

米軍 X バンドレーダー基地関係者の新型コロナウイルスへの感染が明らかになって以降、京丹後市は米軍や防衛省に対して、感染拡大防止に関わる申し入れを行ってきた。しかし、上述のような米軍や近畿中部防衛局の不誠実な態度の中で、あらためて米軍・防衛省に対して基



9月の京丹後訪問日程  
9月29日（火）8:30

10月の京丹後訪問日程  
10月16日（金）8:30  
10月27日（火）8:30

集合 河原町五条西詰 GS 前

連絡先 090-7108-5508 池田

住民のコロナ禍対策

地の閉鎖を含む感染防止対策の徹底を強く要求するとともに、市独自の対策を充実させていかねばならない。米軍に対して感染経路や行動履歴、濃厚接触者など感染拡大防止に必要な一切の正確で詳細な情報を明らかにさせること、米軍がこれまでどのような感染防止策を取ってきたのかを徹底検証すること、そしてまた PCR 検査体制の確立をはじめとした京丹後市としての医療の充実がなされていかなければならない。

私たちはまた、基地建設当初に米軍・近畿中部防衛局が住民に示した「約束」が実際には守られていないことが、住民の不安を助長していることを指摘する。米軍 X バンドレーダー基地に所属する軍人・軍属は、すべて基地の外に居住し、基地との間を行き来している。その中には勝手に民間住宅に居住している軍属も多く存在する。それは当初の防衛局の説明とは異なる「約束違反」であり、その居直りである。京丹後市でさえ公式にはそうした軍属がどこに何人いるのかを把握できない。米軍がコロナ感染に関する正確で詳細な情報を提供していないことに加えて、このような現実が新型コロナウイルスの感染拡大防止対策にも困難をもたらすものであることは明らかである。

同時に、このかんの事態は、不平等な日米地位協定の存在が、新型コロナウイルスの感染拡大防止にとっても桎梏となっていることを示している。日本の国内法が適用されず、検疫も受けずに国内外を移動する在日米軍の新型コロナウイルスへの感染と感染拡大のリスクは、これまでも多くの人々から指摘されてきた。それは沖縄での在日米軍の集団感染の発生などとして現れ、いま京丹後市においても深刻な現実となっている。現在のコロナ禍のなかで、在日米軍に様々な特権を与えている日米地位協定の抜本改正の重要性・喫緊性があらためて浮かび上がっている。これに関して、全国知事会は 2018 年に「日米地位協定の抜本の見直しを求める提言」を日米両政府に対して提出した。京丹後市もまた、基地受け入れ自治体として、日米地位協定の抜本改正を日米両政府に対して強く要求していかなくてはならない。

京丹後市はまた、市長自らが述べている、米軍 X バンドレーダー基地に関わる諸問題についての徹底的な検証を実際に行わなければならない。住民の「安全・安心」が守られることが

京丹後市による米軍基地受け入れの大前提であった。しかし基地建設以降、レーダーの発電機による騒音問題、ドクターヘリ運航時のレーダー不停波問題、米軍関係者による相次ぐ交通事故の発生と事故内容の非公表の問題、二期工事に関わる「土曜工事」の常態化など、さまざまな問題が次から次へと起こってきた。そうしたなかで今年 6 月に X バンドレーダー基地所属の米軍属が酒気帯び運転および物損事故を起こしていたという深刻な問題も明らかになった。住民の「安全・安心」の確保という観点で、京丹後市が実際に基地問題の検証に着手すれば、その結論は基地受け入れの撤回・基地の閉鎖・撤去に行き着かざるをえないだろう。

私たちは在日米軍による住民無視の横暴に関して、在日米軍に日本の国内法を適用させる日米地位協定の抜本改正が早急に必要であると考えており、また、米軍 X バンドレーダー基地を撤去することが、東アジアの平和実現に資するものだと確信している。それを踏まえた上で、以下に要求する。

1. 新型コロナウイルスに感染した米軍関係者について、その感染経路や行動履歴、濃厚接触者など、基地内外での感染拡大防止に必要な正確で詳細な情報を明らかにするよう米軍・防衛省にさらに強く働きかけること。
2. これまでの米軍による新型コロナウイルス感染防止策について徹底検証すること。
3. 住民の不安の解消に向けた施策の一部としての希望者への PCR 検査の実施をはじめ、医療体制の充実を図ること。
4. 日米地位協定の抜本改正に向けて具体的に行動すること。
5. 基地受け入れ時の「条件」が守られているかどうかについて、実際の検証プロセスに着手すること。
6. 米軍 X バンドレーダー基地を閉鎖して、新型コロナウイルスの感染拡大防止策の徹底を図るよう米軍側に強く働きかけること。

#### 米軍 X バンドレーダー基地反対・京都連絡会

共同代表 大湾宗則 白井美喜子 上岡 修  
仲尾 宏 瀧川順朗

連絡先 京都市上京区四番町 121-5 大湾方

TEL/FAX 075-467-4437

## 「街なかピラ」の報告とお知らせ

第102回 8月24日(月) 北野白梅町 6人

猛暑日でした。街路樹の日陰を選ぼうにも太陽は容赦なく照り付け、暑さとのたたかひでした。

第103回 9月14日(月) JR「山科駅」<終了>

＝今後の日程です＝

第104回 9月25日(金) JR「二条駅」周辺

集合場所：JR「二条駅」西口

第105回 10月9日(金) 百万遍周辺

集合場所：市バス「百万遍」停

第106回 10月20日(火) 古川商店街周辺

集合場所：東山三条交差点西南角

※ 時間はいずれも11:00～12:00です。

猛暑の夏の疲れが出る頃です。くれぐれもお体大切に！その上で参加をお待ちしています。

連絡先：090-5672-1597 (白井)

## 9月～10月の企画

(街中ピラ・京丹後訪問・例会は別所で確認してください。)

9/17(木) 辺野古埋め立て反対京都実行委員会街宣  
18:30～ 京都タワー前

9/19(土) 19行動 16:30 京都市役所前

9/26(土) 14:00～ No Base! 「第6回 総会」  
部落解放センター4階 ホール

10/22(木) 10月例会 18:30  
パンディミックが暴いた世界情勢と人民の闘い  
話題提供 大湾宗則さん(共同代表)

## 9月「例会」のお知らせ

とき 9月24日(木)18:30

ところ ひとまち交流館 第5会議室

安倍政権の検証と私たちの反省とこれから

話題提供 大湾宗則さん (共同代表)

## 安倍長期政権の検証と 私たちの闘いの反省

2020.9.13

大湾宗則

改憲に向けて官僚を支配し「軍拡・自衛隊派兵・共謀罪(治安)など」を強行した安倍政権

2012年12月に再登場した安倍政権は、日米同盟を軸にしつつ、東アジアに広がる日本の権益防衛を確固たるものにするため、日米新ガイドラインで東アジアの防衛任務を引き受けて日本の自主防衛路線を加速させ、「軍拡による軍事大国化・自衛隊の海外派兵・憲法改悪」を戦略として出発した。

この戦略を実現するため安倍政権は、①内閣人事局を設置し(2014年5月30日)、参事官以上約600名の高級官僚の人事権を安倍官邸が一手に握り、官僚を政府の支配下に置き、忖度を取り付けた。手始めは、法制局長官人事に介入し、法令及び憲法解釈の変更という立憲主義・法治主義を破壊する道を開いた。具体的には歴代自民政権さえ封じてきた集団的自衛権の行使容認(安保法制関連法)を強行した。また、三権分立も破壊し「辺野古裁判」で司法から正義をはぎ取り、「検察官の定年延長」を強行せんとした。さらに財務省、経産省、防衛省の高官が政権に忖度して「森友・加計・自衛隊派兵の報告書・桜を見る会」などの改ざんと隠ぺい、書面黒塗りなど国民の知る権利をはく奪し続けた。

辺野古新基地建設に関しては民意を無視して地方自治を破壊、そして「公有水面埋立法」の安全・環境条項を無視して辺野古を埋め立てている。勿論これら違憲・違法は安倍政権だけのものではない。日本の再軍備・自衛隊の創設こそ憲法違反であり、日米安保条約の防衛範囲「極東条項」も破り、日米両軍は今や世界を股にかけて行動している。「思いやり予算」も日米地位協定第24条に違反して今日に至っている。

② 第二は、「軍拡による自主防衛・自衛隊海外派兵・改憲」と並行して国内治安を強化するため「秘密保護法・共謀罪」が強行採決された。

共謀罪は、「京都/近畿連絡会」の白バス嫌疑やキャンプ・シュワブゲート前での闘いで山城博治さん他2名で試され、現在、関西生コン支部への組織破壊攻撃として現実化しており、これをはね返す闘いが取り組まれている。

また軍拡は、単に対外的な軍勢力を誇示するに止まらず、軍事大国化は国民の差別的な「一等国国民意識」を刺激し、排外主義の温床となる。

- ③ 第三は、朝鮮・中国に対する敵視政策である。日米韓による軍事的包囲と経済制裁は「朝鮮政府転覆」策動であり、日本政府による差別排外主義は、社会における差別と共振・増幅しあって在日外国人へのヘイトクライム、障がい者やコロナ禍患者への優生思想による命の選別・排除、自粛警察という監視・攻撃的な自警団まで生み出しつつある。
- ④ 第四は、労働の規制緩和と働き方改革による労働法制の改悪である。

### これだけの悪政を続けた第二次安倍政権がなぜ、7年8ヶ月も長期政権を維持し得たのか？

2012年12月に再登場した安倍首相は言った。「企業(資本家)の儲けが大きければ大きいほどその恩恵は労働者や中小零細企業、農漁民(地方)にいきわたる」と。これは資本家の間で好まれる格言で「トリプル・ダウン(上から下に滴り落ちる)」の法則といい、「パイを大きくすれば取り分も増える」、社会保障も充実するというやつだ。こうして安倍政権は、「不況克服は経済の成長だ」と号令をかけ、成長戦略の司令塔「産業競争力会議」「規制改革会議」を設置しその下で「日本再興戦略」を立ち上げ①「不況からの脱却」を掲げてアベノミクスの「三本の矢」「新三本の矢」を放ち続けた。

それは「(無制限な)金融緩和・(税金と赤字国債を総動員した)財政出動による成長戦略」だった。

安倍政権の成長戦略は、日本企業が国際競争に打ち勝つための生産性向上(革命)であり、それを支持する国民の支持取り込みであった。

安倍政権は、国際競争力に勝つためには全労働者の総賃金を低く抑えて搾取を強化する必要があった。2012年～2019年までに外国人旅行者の急増や株高(不労所得)が進んだことから雇用は確かに497万人増えがその内非正規労働者が71%の350万人占め、有効求人倍率も1を超えていたが非正規雇用の募集が中心だった。

安倍政権下で法人実効税率は37.0%から29.74%に引き下げられ、他方2回にわたる消費税アップ(5→8→10%)がなされている。この同じ時期、企業の内部留保は2012年度の304兆円から2018年度には463兆8億円で達している。しかし労働者の実質賃金は低下し、中小零細企業や地方は冷え上がっている。安倍政権下では戦後第2の景気拡大期といわれたが、その搾取の恩恵は富裕層(資本家)に集中し、労働者大衆に無縁で貧富の差は拡大した。安倍首相は厚顔にも「上から下に滴(したた)り落ちるに

は時間がかかる」と弁明した。

### 自民党政治に如何に対決するのか？

「成長戦略、生産性向上、国際競争力の強化」が人々の暮らしをよくするという「思い込み」を働く人々は払拭すべきである。

トリプルダウン論を信じる人たちは、企業に協力し成果を拡大すれば「分配(成果の取り分)」も大きいと信じている。しかし成果を上げるためには企業間、さらに外国の労働者との国際競争に勝たねばならず、世界的規模で労働者の賃金引き下げ競争によってしか実現できない。

労働者が担わされる生産性向上運動は、非正規労働者や成果主義賃金を認め、労働三権(団結権・交渉権・スト権)をも放棄に追い込まれる。

企業、世界の労働者間の競争と分断、対立は不可避であり、労働者は既得権益を防衛するため排外的になり、移民排斥さらには政府の軍拡・戦争政策を支持する勢力に作り替えられる。

反戦・反基地闘争は、人々の命とくらしに基礎を据えて闘われなければ前進はない。

首の皮一枚残して「安倍の改憲」を阻止しえたが辺野古埋め立て阻止の闘いが困難な理由であり、自民・公明長期政権を許してきた背景である。安倍首相の後継・菅義偉氏はさらに一層国家権力を集中し、「敵基地攻撃」を具体化せんとしている。世界の人々と共に闘おう！

## 米軍基地いらんちゃフェスタin京都

沖縄にも京都にも日本のどこにも基地はいらない！

沖縄・韓国・永井友昭さんからメッセージと映像  
集会とデモ

米軍Xバンドレーダー基地撤去！

辺野古新基地建設反対！

日米地位協定の抜本的改定を！

日時 11月8日(日)14時～16時30分

会場 京都府部落解放センター四階ホール

主催 米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会

協賛 米軍基地建設を憂う宇川有志の会

参加費 500円

今年の米軍基地いらんちゃフェスタ 2020in 丹後は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため11月8日(日)に規模を100人以下に縮小して京丹後で開催されます。京都連絡会・近畿連絡会は、この地元での集会に代表参加で参加します。

また、例年のようにバスや車を連ねて現地の集会に参加することはできないので、京丹後での本集会に連携した京都市内での集会を11月8日(日)に開催します。ご参加をお願いします。